

社会福祉学 **を** 学ぼう

今の社会は福祉抜きでは成り立たない

〈社会福祉学とは〉

個人と社会の
幸せづくりをする学問

人々が抱えるさまざまな生活問題の中で、社会的支援が必要な問題に対し、問題解決に向けた「社会福祉政策」を考え、研究し、実際に個人や地域・社会に働き掛ける「実践」を推進する学問。言い換えれば、現実の社会を把握し、一人ひとりの尊厳を大切に、誰にとっても生きやすい社会の在り方を探る。現代社会において最も必要な学びの一つです。

全ての人
が自分らしく
生きていける
社会を育む

知識とスキルで
人と人、人と社会、
人と環境をつなぐ

〈福祉マインドとは〉

人を尊び、
支え、つなぐ力

あらゆる人の多様な価値観を受け入れながら、それぞれの生活課題に気づき、それが社会の問題であると把握して、社会との連携を図ります。この社会的役割を果たす力が、福祉マインド。社会福祉に関する理論や歴史、法制度などの「知識」に、現場で培う「スキル」をプラスしながら、福祉マインドを習得していきます。



身につけよう! 多様な問題を解決する 福祉の力

さまざまな身体的・精神的状況により生じる生活問題や、社会的に弱い立場であったり、少数であったりすることによる差別や抑圧など、個人と社会の相互作用の中で生じるあらゆる生活課題を社会福祉学は扱います。

それらの課題を認識・発見し、社会構造との関連で問題として理解し、人々の課題を、福祉の問題として捉え直すことによって、「福祉マインド」を身につけることができます。それが多様な問題を解決する福祉の力となります。これは必ずしも福祉の専門領域だけでなく、今の時代には、さまざまな現場でグローバルに必要とされている能力です。つまり、今の社会は福祉抜きでは成り立たないのです。

*「課題」(issue)=緊急の問題 「問題」(problem)=重大事、困難な問題

取得できる資格

大学等で所定の課程を修了すると、次の国家試験の受験資格が得られます。

社会福祉士

生活問題を抱えた人たちとその家族の相談に乗り、助言や支援、関係機関との連携・調整を行う専門職の国家資格です。

精神保健福祉士

心に病を抱えた人たちの問題解決のための援助、関係機関との連絡・調整を行う専門職の国家資格です。

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟(ソ教連) <http://jaswe.jp/>

学んで得られる! 幅広い力

支援する力

個人の尊厳を重視し支援する

当事者の立場に立って、問題を抱える人たちの尊厳を守り、ただ助けるのではなく、自分たちの意思と力で自分らしく生きていけるように支援します。

分析する力

生活問題を発見し、普遍化する

さまざまな人々の多様な価値観を理解した上で、生活問題のニーズを発見し、それを社会との関係で分析し、社会共通の課題に普遍化します。

調整する力

社会資源を調整・開発する

地域の「見守り」やネットワークの在り方などを学び、社会資源を調整して、一人ひとりの問題を解決するとともに、新しい社会資源の開発に取り組みます。

運営する力

社会福祉の運営に貢献する

社会福祉の組織が持つ権限、情報、人員、財源などの構成要素を学び、効果的かつ効率的な社会福祉の運営に貢献します。

擁護する力

権利を擁護する

生活問題に直面している人たちの権利を擁護するシステムについて現状と課題を把握し、サービス利用の支援者としての役割を担います。

創る力

個人の力を高め社会を開発する

一方的な援助ではなく、一人ひとりの生きる力や社会的役割を果たす力を高める方策を常に考え、より力強い社会を創る能力を培います。

国際

海外での活動や国際的な協力、日本在住の外国人支援など

学んだ力が実となって、
さまざまな現場で活躍できる!

福祉施設 事業所

高齢者や障害者、児童などへ福祉サービスを提供

独立型 社会福祉士

地域を基盤として独立した立場で相談援助に従事

病院

必要な医療を受け、自分らしい生活を送るための支援

行政

多様化する課題への対応と施策づくり、行政サービスの提供

一般企業

様々な市場の需要に対応し、人々の暮らしを豊かにする仕事

教育

子どもに寄り添い、育ちや学びの環境を整える

司法

法律的な視点から、さまざまな人々の権利擁護や社会復帰を支援

社会的起業

さまざまな社会問題の改善を図る事業を通じ、社会に貢献する

雇用

一般雇用の難しい人々も含めて、多様な働き方と自立の在り方を探る

NPO・NGO

公共性の高い独自の福祉活動や国際協力への貢献

災害

ボランティアの調整や、被災した人々の生活再建と復興の街づくりを支援

地域

住民の結びつきを深め、地域力を高める支え合いや交流活動を促進

マスコミ

社会の問題を発見し、伝えるコミュニケーションスキルの応用

多様な学びを深める!

あなたならどうする?

講義

特定の事象をめぐる個人と社会の連関を分析・説明する洞察力や、課題を発見し、問題解決への思考力を培います。

〈難民〉



国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) から要請が来てるみたいだね。難民の認定には課題も多いけど、多様な価値を受け入れる社会になってほしいなあ

「ドイツはシリア難民をたくさん受け入れたのに、日本は数人しか認めなかった」と先生が言ってたよ。同じ地球に生きていて、日本がやれることって何だろう?

演習

少人数で討論して議論を深めたり、事例検討やロールプレイを通して支援の在り方を学びます。

〈性的マイノリティ〉



同性愛カップルの結婚を法的に認める国が増加傾向にあることを調べようと思ってんだ。いろいろな生き方があるからいいと思うから

「いろいろな生き方があるっていい」では、どこか他人の気がするよ。なぜ性の多様性が認められず、少数者として差別されてきたのか。歴史をたどりながら、差別する側を問う視点が必要なんじゃないかな

法学

心理学

経済学

保健学

社会福祉学

隣接科学と連携しながら学ぶ

教育学

医学

社会学

卒業論文／卒業研究

文献研究や調査によって特定のテーマに関する実態の把握や分析を行い、論文にまとめます。

〈災害〉



被災地のボランティアに行ってきたよ。仮設住宅に一人暮らししているお年寄りの人は不安そうだった。気に掛けてくれていた人が復興住宅に移っちゃったんだって

支援の仕組みをつくるのが大切だね。私は「つながり」が持たなくなっているお年寄りのネットワークについて卒業論文でまとめようと思っているから、詳しい話を聞かせてほしいわ

机の上の学びだけでなく、体験型、参加型学習で学ぶ

実習／フィールドワーク

福祉機関・福祉施設をはじめ、NPOやNGO、被災地や過疎地、海外などに行き、現場のニーズを体得しながら、対応力を身につけます。

〈貧困〉



実習先の施設で、同じ年齢の人が暮らしていたんだ。「学生はいいな、学歴もあるし家族もいるし、夢もあるんでしょ」と言われて、返事に困ってしまったわ

なぜ人の生活がこんなにも違ってしまっただろうね。僕の実習先にも、「自分が貧困なのは運命だから抜け出せない」と言っていた利用者が出て、社会の仕組みを考えなければとすごく思った

政策

(ソーシャルポリシー)

社会福祉学における政策とは、人々が抱えるさまざまな生活問題の解決に向けた社会資源の確保、具体的な推進計画や運営組織などの方策のことです。

実践

(ソーシャルワーク)

社会福祉学における実践とは、問題を抱えた個人や家族への個別的支援や、地域・社会に対する開発的な働き掛けのことです。

学びの成果が「政策」と「実践」という両輪になって推進力になる!